

⑦数cm角の黒い炭はすべて掬って缶に入れてください



⑨炭や灰が残った状態で焚き火跡を埋め戻すのは止めてください。雨が降ると細かい炭が地表に上がってきて処理が非常に困難となります



⑧水をかけずに(理由は⑪に後述)、蓋を閉めて消火します



⑩土を戻し鍬やスコップなどで周囲の土を寄せて盛った後、しっかりと踏み固めてください。次にお使いの方がテントを張れる状態に戻します



⑪缶を所定の置き場に戻してください。熱が冷めた後にキャンプ場側で網で分離し、灰は森の養分として戻し炭は再利用します。雨の場合は仕方ありませんが、水をかけて濡れた状態では炭と灰に分離することができません



ご協力よろしくお願いいたします